学んだことを自分ごととして捉えることのできる児童の育成
―ＩＣＴを活用した振り返り活動や話し合う活動の工夫を通して―

特別研修員　社会　西巻　有佳子（小学校教諭）

目指す児童像　学んだことを自分ごととして捉えることのできる児童

まとめる

追究する

学んだことを自分とつなげる

ＩＣＴを使うことで、クラス全員の考えを知ることができる。

ＩＣＴを使うことで、自分の考えが確認しやすくなる。

ＩＣＴのよさ！

手立て②
自分の考えたことを話し合う活動の工夫

・自分ごととして捉えた考えを、①で作成した振り返りシートを使って班やクラスで話し合い、友達の考えを知り、自分の考えを深めるようにする。

振り返りシートの活用
・毎時間のまとめの時間に行う。
・自分だったらこうしたい、自分ができることは何かについて考える。
・友達の考えを共有し、自分の考えと比べる。

自分だったら、こうしたいな。こんなことができるかな？

手立て①
毎時間の振り返り活動の工夫

・単元を通して自分の考えが整理でき、学習内容が自分ごととして捉えられる振り返りシートを作成する。
・毎時間の振り返りの中で、学んだことを自分とつなげられるめあてを設定し、自分ごととして捉えた振り返りをＩＣＴを使った振り返りシートに蓄積できるようにする。

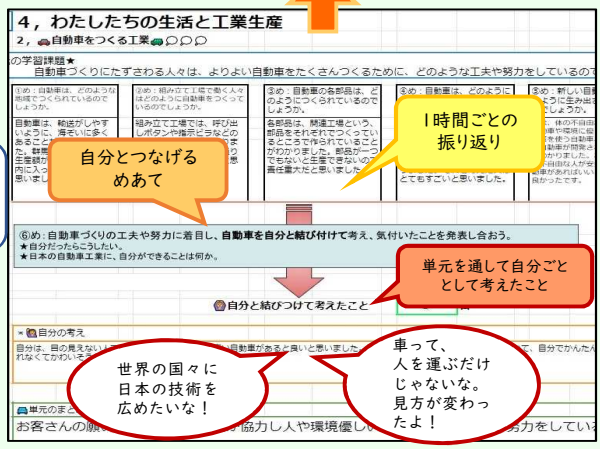
授業で学習したことを自分の生活と結び付けて考える

手立て②　自分の考えたことを班やクラスで話し合う活動の工夫

・自動車作りの工夫や努力について、班やクラスで話合い、自分との違いや新たな気付きを発見し、自分の考えを深める。

友達の意見を聞いて、みんなも自分と同じように日本の自動車のよさに気付いていることがわかった。自分も大人になって早く自動車を運転してよさを体験したい！

自分も、目の不自由な人が運転できたらいいと思う。どんな人にでも乗ってもらえるような自動車を作るということは大切だと感じた。



手立て①　毎時間、授業で学習したことを振り返りシートにまとめ、最後の時間に単元を通しての振り返りをする。

○ICTを使った振り返りシートで、自動車作りの工夫や努力についての自分の考えを確認しながら、単元を通して自分ごととして捉えた意見をまとめる。

授業実践　5年社会　自動車をつくる工業

児童の実態
・学んだことを理解するにとどまり、自分の生活と結び付けて考えられていない。

教師の願い
・学んだことを自分の生活と結び付け、自分ごととして捉えることができるようになってほしい。

〔成　果〕
○ＩＣＴを使ったシートを利用することで、班での話合いのときに友達の意見を確認しやすくなり、有効だった。
○自分ごととして捉えるために、ワークシートの発問を工夫し、視点をはっきりと児童に伝えることができたので多くの意見を引き出すことができた。
○発表者が必ず意見がもらえるように、質問や感想を言うルールを設定したことで、話合いが活発になり、自分以外の考え方を知り、納得したり、疑問に思ったりすることができ、自分の考えを深めることができた。

〔課　題〕
○班での話合いは、全員が自分の意見を言う目的は果たせたが、場面や実態に応じては、クラス全体での話合いだけにし、もっと質問をし合い、じっくりと話し合い、考えを深める方法もあった。
○教科書で学習した内容を、他人ごとではなく、自分のこととして置き換えたり、地域のこととして考えたりすることは、社会科の学習で必要なことである。そのために、学習したことは自分とどう関係しているかをいつも意識し、自分ごととして捉えられるような授業づくりをする必要があると感じた。